

ドイツの卓球チームが旭市に！



2016年のスポーツ交流の様子



ドイツの国旗

あさひオリンピックピック新聞

2020.7月号



旭市では、2009年から、ドイツのデュッセルドルフ市の子どもたちと相互往來の交流（スポーツ・文化）を行っています。これまでにドイツの子どもたちを4回受け入れ、旭市からも過去5人の子どもたちがドイツへ訪問しています。スポーツでは、卓球の交流を行っており、文化交流では、書道体験や陶芸、お寺の散策など、日本の文化を体験しています。このような活動をきっかけとして、東京オリンピックではドイツの※ホストタウンとなり、卓球の代表チームを招くこととなりました。



文化交流（書道）の様子

ドイツは、ヨーロッパでは卓球がとても盛んな国で、世界規模の大会も開催されています。また、世界でも強豪国の一つとして知られており、前回のリオデジャネイロオリンピックでは、女子団体で銀メダル、男子団体で銅メダルを獲得しました。ドイツの卓球チームは、東京オリンピックでも、メダルの獲得が期待されています。

2017年5月、オリンピックの事前キャンプにドイツの卓球チームをお招きするため、デュッセルドルフ市を訪問しました。そこで、ドイツ卓球協会のガイガー会長、ドイツナショナルチームのブラウス監督に、旭市のアピールを行いました。その結果、「事前キャンプを行うならぜひ旭市で行いたい。」とお返事をいただきました。



ガイガー会長（右から4番目）とブラウス監督（右から2番目）

※ホストタウンとは、オリンピックに参加する選手たちと交流を行うことを目的として、国から認められた市や町、村のことです。

ザンビアの選手団がやってくる！



調印式の様子



ザンビア共和国の国旗

ザンビア共和国オリンピック委員会は、東京に近い千葉県内でオリンピックの事前キャンプを行える場所を探していました。旭市では、すでにドイツ・卓球チームの事前キャンプの調整をしていましたが、総合体育館や東総運動場でザンビア共和国の選手も受け入れることが可能と判断し、ザンビア共和国大使館の方やオリンピック委員会会長と何度か打ち合わせをしたり、視察を受け入れたりしました。ザンビア共和国から、「自然が豊かで練習する施設も最高だ。」と評価をしていただき、事前キャンプを行うことが決定しました。

そして、2020年1月15日、ザンビア共和国の大使をお招きして、調印式を行いました。ザンビア共和国からは、陸上、柔道、女子サッカー、ボクシング、競泳の選手が出場する予定です。



ザンビアのオリンピック選手は、日本に来た後、本番の東京オリンピックに向けて、旭市で練習を行います。そして、オリンピックが終わった後も、スポーツや文化、農業などの交流が続いていきます。旭市では、公開練習や交流イベントなど、ザンビア選手を身近に感じることができるイベントを開く予定です。

ザンビアのオリンピック選手団は、メダルを獲得すれば、1996年のアトランタオリンピック以来、24年ぶりの獲得となります。そして、金メダルを獲得すれば、ザンビアにとって初めてのこととなります。メダル獲得をめざして、東京オリンピックに出場するザンビアのオリンピック選手を、旭市のみんなで応援しましょう！

ザンビアってどんな国？

ザンビアは、アフリカの南にある国の一つです。大きさは日本の二倍くらいあります。豊かな自然が魅力の国で、みなさんが動物園でよく見かける、ゾウやキリン、シマウマなどの野生動物が、たくさん住んでいます。

みなさんの学校にも、ザンビアの選手たちがやってくるかも！